

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界は美しいと	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。((C1)ア)	進んで語感を磨き、友達のかえや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
握手	5	◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)		物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
漢字に親しもう	2	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
説得力のある構成	3	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。((A1)イ)	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
文法	5	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。((2)1オ)		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
相手に応じた言葉遣い	1	◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ)		相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
漢詩の味わい ＜教科書変更による差し替え＞	4	◎歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ◎詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。((3)ア)	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。((C1)ウ)	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代について進んで理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
意見を聞き、適切さを判断する	1	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。((A1)ア)	聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして助言を考えようとしている。
作られた「物語」を超えて	4	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。((C1)ア)	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
論理の展開を意識して書く	4	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。((B1)ア)	論理の展開や意見と根拠、それら結びつける理由づけなどを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書くようとしている。
漢字 熟語の読み方	1	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
俳句の可能性/俳句を味わう	4	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎俳句の構成や表現のしかたについて評価することができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを豊かにしている。((1)イ)		進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
言葉の釣り糸を垂らす	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。((C1)イ)	筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
和語・漢語・外来語/語彙を豊かに	1	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを豊かにしている。((1)イ)		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に適切に使い分けようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
実用的な文章	3	◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)		情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
情報の信頼性	1	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)		積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。
読書を楽しむ「私の一冊」を探しにいう	1	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)		進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
挨拶ー原爆の写真によせて	3	◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。((C1)エ)	詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
故郷	6	◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。((C1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。((C1)エ)	文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
「推敲」論理の展開を整える	2	◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。((B1)オ)	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての助言を生かして、書き改めようとしている。
慣用句・ことわざ・故事成語	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)		慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
漢字の造語力	2	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
考えを効果的に伝えよう	5	◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる ★関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。((B1)ウ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。((B1)オ)	自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書くようとしている。

文法「ない」の違いがわからない	1	単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。(知・技1年(1)エ、2年(1)オ)	単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
聴きひたる 初恋	1	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
和歌の世界/君待つと	4	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア)		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
夏草「おくの細道」から	5	◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して、その世界に親しむことができる。 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
つながる古典/古典名作選	1	◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア)	「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したりメッセージを書いたりしようとしている。
それでも、言葉を	4	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)	言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
漢字のまとめ/漢字に親しもう	2	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
合意形成に向けて話し合おう	3	◎進行的しかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 一複数の参加者の意見の関係を捉えて整理している。	「話すこと・聞くこと」において、進行的しかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)	積極的に進行の工夫とその効果を分析し、今までの学習を生かして話し合いの効果的な進め方について考えようとしている。
本は世界への扉	2	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。
温かいスープ	3	◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
アラスカとの出会い	2	◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(2)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
律儀な桜	2	◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((4)オ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(3)エ)	人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
私を束ねないで	1	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。